

【問9】 標榜科目 (複数回答)	内科	33	56.9
	外科	17	29.3
	小児科	14	24.1
	耳鼻科	3	5.2
	皮膚科	5	8.6
	眼科	5	8.6
	リハビリ科	5	8.6
	その他	8	13.8

表2. 変数間の相関係数 (spearmanの順位相関係数)

上段: 相関係数
下段: 有意水準

	①紹介頻度	②認可の認知	③地域連携推進への意見	④紹介された経験	⑤共同診療の経験	⑥かけはしへの認識	⑦開業年数	⑧医師年数	⑨内科	⑩外科	⑪小児科	⑫耳鼻科	⑬皮膚科	⑭眼科	⑮リハビリ科
① 浦添総合病院への紹介頻度	1.000	0.054	-0.091	0.415	0.437	0.239	0.263	0.057	0.194	-0.051	0.041	-0.066	0.286	0.212	-0.108
② 浦添総合病院が「地域医療支援病院」の認可を受けたことの認知	0.054	1.000	-0.055	-0.109	0.156	0.094	0.234	0.124	0.131	-0.013	0.140	0.058	0.076	-0.203	0.076
③ 浦添総合病院が地域連携を積極推進することへの意見	-0.091	-0.055	1.000	0.008	-0.041	-0.322	-0.198	-0.163	-0.123	0.257	0.014	0.253	-0.145	-0.164	-0.015
④ 浦添総合病院からの患者紹介の経験	0.054	0.008	0.008	1.000	0.183	0.264	0.199	0.025	0.255	-0.018	-0.213	0.108	0.143	0.143	-0.029
⑤ 浦添総合病院との共同診療の経験	0.002	0.421	0.953	0.000	0.191	0.054	0.145	0.857	0.063	0.898	0.122	0.435	0.303	0.303	0.838
⑥ 地域医療連携室「かけはし」に対する認識	0.437	0.156	-0.041	0.183	1.000	0.244	0.359	0.309	0.428	-0.036	0.143	-0.198	0.007	-0.149	0.025
⑦ 現在の診療所の開業年数	0.001	0.265	0.773	0.191	0.085	0.085	0.009	0.026	0.002	0.798	0.310	0.160	0.958	0.293	0.861
⑧ 医師になってからの年数	0.239	0.094	-0.322	0.264	0.244	1.000	0.104	0.000	0.337	-0.339	0.252	-0.325	0.143	-0.200	0.143
⑨ 内科	0.084	0.493	0.019	0.054	0.085	0.085	0.452	1.000	0.013	0.012	0.066	0.016	0.303	0.147	0.303
⑩ 外科	0.263	0.234	-0.198	0.199	0.359	0.104	1.000	0.515	-0.021	-0.009	-0.167	0.261	-0.152	0.051	0.316
⑪ 小児科	0.055	0.082	0.151	0.145	0.009	0.452	0.000	0.000	0.879	0.947	0.224	0.054	0.269	0.714	0.019
⑫ 耳鼻科	0.057	0.124	-0.163	0.025	0.309	0.000	0.515	1.000	-0.029	0.114	-0.209	-0.127	0.133	0.167	0.133
⑬ 皮膚科	0.684	0.363	0.238	0.857	0.026	1.000	0.000	0.000	0.832	0.407	0.126	0.357	0.332	0.224	0.332
⑭ 眼科	0.194	0.131	-0.123	0.255	0.428	0.337	-0.021	-0.029	1.000	-0.016	-0.034	-0.131	0.129	-0.387	0.129
⑮ リハビリ科	0.159	0.341	0.380	0.063	0.002	0.013	0.879	0.832	0.907	0.907	0.805	0.341	0.348	0.003	0.348
<横榜科目>	-0.051	-0.013	0.257	-0.018	-0.036	-0.339	-0.009	0.114	-0.016	1.000	-0.210	0.186	0.336	-0.212	0.199
⑨ 内科	0.712	0.927	0.063	0.898	0.798	0.012	0.947	0.407	0.907	0.907	0.123	0.174	0.012	0.121	0.145
⑩ 外科	0.041	0.140	0.014	-0.213	0.143	0.252	-0.167	-0.209	-0.034	-0.210	1.000	-0.140	-0.040	-0.185	-0.040
⑪ 小児科	0.768	0.307	0.920	0.122	0.310	0.066	0.224	0.126	0.805	0.123	0.307	0.307	0.774	0.177	0.774
⑫ 耳鼻科	-0.066	0.058	0.253	0.108	-0.198	-0.325	0.261	-0.127	-0.131	0.186	-0.140	1.000	-0.076	-0.076	-0.076
⑬ 皮膚科	0.636	0.676	0.067	0.435	0.160	0.016	0.054	0.357	0.341	0.174	0.307	0.307	0.582	0.582	0.582
⑭ 眼科	0.286	0.076	-0.145	0.143	0.007	0.143	-0.152	0.133	0.129	0.336	-0.040	-0.076	1.000	-0.100	-0.100
⑮ リハビリ科	0.036	0.582	0.299	0.303	0.958	0.303	0.269	0.332	0.348	0.012	0.774	0.582	0.468	0.468	0.468
① 眼科	0.212	-0.203	-0.164	0.143	-0.149	-0.200	0.051	0.167	-0.387	-0.212	-0.185	-0.076	-0.100	1.000	-0.100
② 皮膚科	0.123	0.138	0.240	0.303	0.293	0.147	0.714	0.224	0.003	0.121	0.177	0.582	0.468	0.468	0.468
③ リハビリ科	-0.108	0.076	-0.015	-0.029	0.025	0.143	0.316	0.133	0.129	0.199	-0.040	-0.076	-0.100	-0.100	1.000
④ 眼科	0.436	0.582	0.915	0.838	0.861	0.303	0.019	0.332	0.348	0.145	0.774	0.582	0.468	0.468	0.468

アンケート用紙

【問 1】あなたは浦添総合病院にどの位の頻度で患者を紹介されますか。

- 1. 毎週 1 回以上
- 2. 月に 2～3 回程度
- 3. 1 年に 5～6 回程度
- 4. 1 年に 1～2 回程度
- 5. ほとんど紹介しない

【付問 1-1】これまで浦添総合病院に患者を紹介して、何か問題を感じたことはありますか(○はいくつでも)。

- 1. 浦添総合病院の医師の対応が不適當であった(入院させて欲しいと言ったのに、入院させなかった、など)
- 2. 紹介した患者のその後の経過報告が不十分である(返書が遅い、状態の変化があったとき、死亡したときの報告がない、など)
- 3. 紹介した患者を戻さなかったり、相談もなく他院へ逆紹介する
- 4. 紹介をしたとき、職員の対応が悪かった
- 5. 紹介した患者から浦添総合病院の不満が多い
- 6. その他 ()

【付問 1-2】浦添総合病院に患者を紹介しない理由をお教えてください(○はいくつでも)。

- 1. 紹介するのに適当な患者がないから
- 2. 浦添総合病院に以前患者を紹介してイヤな思いをしたから
- 3. 浦添総合病院に知っている医師がないから
- 4. 浦添総合病院以外に親しい病院があるから
- 5. 浦添総合病院の医療の質が低いと思うから
- 6. 患者が嫌がるから(選択しないから)
- 7. その他 ()

【問 2】浦添総合病院が「地域医療支援病院」の認可を得たことをご存じですか。

- 1. 知っている
- 2. 詳しくは知らないが、聞いたことはある
- 3. 聞いたことはない

【問 3】浦添総合病院は地域連携を積極的に進めようとしています、そのことについてどう思われますか。

- 1. 非常に問題が多い
- 2. 少し問題がある
- 3. とくに問題はない

【付問 3-1】どのような問題を感じられますか(○はいくつでも)

- 1. 連携の方法がよくない(紹介患者についての情報提供等)
- 2. 浦添総合病院は地域連携の中核病院としてふさわしくない
- 3. 連携の進め方が強引である
- 4. その他 ()

【問 4】へ

【問6】診療所との連携を円滑に進めるために浦添総合病院では、地域医療連携センター「かけはし」という名前の部署が診療所や患者さんの窓口となっています。あなたはこの「かけはし」についてどう思われますか。

1. 便利な存在である
2. 不要である
3. どちらとも言えない
4. 「かけはし」を知らない
5. その他 ()

【問7】あなたが現在の診療所で診療を始めてから何年くらい経ちますか。

1. 1年以内
2. 1～2年
3. 2～5年
4. 5～10年
5. 10年以上

【問8】あなたが医師になられてから何年くらい経ちますか。

1. 3年以内
2. 3～5年
3. 5～10年
4. 10～20年
5. 20年以上

【問9】あなたの診療所で標榜している診療科目は何ですか。

[]

【問10】浦添総合病院との連携を進める上で、お感じになっていることをご自由にお書きください。

調査にご協力、誠にありがとうございました

問10「浦添総合病院との連携を進めるにあたって感じること」（自由回答）について

☆内科、リハビリ科（診療所開業1～2年）

自由に主治医の方と連絡できる方法はないでしょうか。各先生がたのことを存じ上げないので一寸考えられます。

☆ 歯科（診療所開業1～2年）

数名の患者さんから駐車場がわかりにくいと言われたことがあります。他では問題がありません。

☆ 胃腸科、内科外科、整形外科（診療所開業10年以上）

サテライト医院が周辺に出来、患者さんの数が非常に減少し医院経営が難しくなってきました。現在レセプト枚数が1ヶ月100枚程少なくなっている。

☆ 小児科（診療所開業10年以上）

入院依頼をして病院側もOKしたのに、入院させず外来 FOLLOW となることがよくある。その時にもトラブル発生した時は必ず病院で対応するなどの強い支援を患者に伝えていないむきがある。外来 FOLLOW になった患者は又、当院に来て点滴など受ける有様です。それなら始めから入院を受け入れなくてよいのに、、、。病院は他にもありますから。

☆ 内科、循環器科、呼吸器科、胃腸科（診療所開業5～10年）

重症患者や糖尿病の教育入院、自分の専門以外の患者さんを気軽に紹介できるので大変助かっています。又、自分の専門領域の患者さんを FOLLOW UP 目的で逆紹介してもらい好都合です。共同診療に時間を作って参加したいとも思いますがその経験がないので始めの一步が踏み出せません。

☆ 内科、小児科（診療所開業10年以上）

いつでも、どんな患者さんでも引き受けて下さるので大変感謝しております。

☆内科、小児科、皮膚科、外科（診療所開業5～10年）

内科紹介で送った患者さんが、緊急の場合は別として OPE 後に担当の外科医から TEL による説明がありますが、事前にどういう理由で OPE になったのか経過がよく分からないことがある。カンファランスされての結論だと思いますが OPE はすべていくとは思いませんし術後に死亡した時かかりつけ医から FAMILY への説明も必要となってきます。

それと、浦添総合病院で勤務していた人が開業した時、患者紹介が以前からある診療所より優先されているような印象を受けます。できるだけ患者さんの立場でいつでも気軽に通院できる近医を紹介して欲しい。病診連携、かかりつけ医をすすめる上でも大切です。勿論選択権は患者さんにありますので無理な紹介は必要ないと思いますが、...

☆ 科目不明（診療所開業10年以上）

地域、地域とは聞こえはいいが、相互の立場に立って、スタッフの教育をしっかりと、大きい所と高圧的では駄目。

☆一般内科、腎臓専門医、透析認定医（診療所開業1～2年）

紹介先を決める時、原疾患で紹介するか障害臓器グループで紹介するか困ることがある。どちらに紹介するとしても両グループで常に相談して治療する方が望ましい。現在グループ間の連携はうまくいっていないように思われる。

☆内科（診療所開業10年以上）

前記のとおり、地域の中核病院(支援病院)になるためには地域のDrのneedsに応えるべきでしょう。病院の理念だけが先走ると中途半端なFSになるのではないか。私としては以前のような通院も外来も制限がなかった体制の方がずっと利用しやすかったです。紹介患者が5分の一以下になってしまっている。残念である。

☆形成外科（診療所開業10年以上）

私は形成外科であるが形成外科医の顔も腕もどの程度かわからない。患者さんを私の紹介する方々中部病院形成外科と同等くらいなら有り難いのである。

☆ 耳鼻咽喉科、気管食道科、形成外科（診療所開業1～2年）

- 1、紹介患者の経過・結果の報告をきちんとして欲しい。
- 2、部長、指導医が若いDrをきちんと教育して欲しい。
- 3、医師の交代が短期間である。

☆ 内科、呼吸器科（診療所開業2～5年）

- ・ 病院勤務の時は入院の重症患者さん、検査・軽症の多くの外来患者さんで超多忙で体力的に限界でした。重症入院患者さんを泊まりこみで診る時は外来診療中に居眠りする事もありました。
- ・ 開業後は精査が必要な患者さん、緊急入院が必要な患者さんの病院探しが大変でしたが浦添総合病院が地域支援病院になってからは大変助かっています。
- ・ 病院と診療所の役割分担がとても重要だと思います。その役割分担をスムーズにす

るために診療連携が必要と思います。紹介した患者さんの経過報告は一部不十分な報告もありますが大部分は詳しい報告で満足しています。

- ・ 共同診療はお互いの時間を合わせる事が困難です。
- ・ 地域完結型医療システムがうまくいくことを希望し、協力していきたいと思っています。

☆ 内科、消化器科(胃腸科)、小児科 (診療所開業5～10年)

紹介は患者さんのその後の経過の返事のないことがある。(普段診ていて急変し、救急車で浦添総合 Hp を受診した患者さんなどを含め)

紹介状をチェックし返事がなされたかどうかのチェック機構が必要と思いますが、、、。

☆ 小児科 (診療所開業5～10年)

最近は入院希望に対して拒否はありませんので安心してしています。小児科は大変だと思いますが、100パーセント受け入れてもらえるよう今後も希望します。

☆ 内科、消化器科、循環器科、呼吸器科 (診療所開業2～5年)

入院受け入れがもっとスムーズに行くようにしてほしい。

☆ 外科その他 (診療所開業10年以上)

- ・ 紹介した患者のその後の経過報告や退院時の返書がない時が時々ある。返書の有無をその科の部長がチェックすべきではないでしょうか？返書の書き方も指導すべきだと思います。返事の内容は簡単で結構ですからぜひお願いしたいと思います。紹介した症例についての最新の情報、診断、治療のコツ等のコメントがあるとなお良いと思います。
- ・ 当院は那覇市の診療所(19床)ですが空床の時があります。利用していただける方法はないもののでしょうか？
- ・ 長期旅行の時などに入院患者の面倒を見てもらう方法ないもののでしょうか。

☆ 眼科 (診療所開業10年以上)

眼科救急をオンコールでして欲しい。

☆ 内科、呼吸器科、循環器科、消化器科、小児科、呼吸器外科、アレルギー科、リハビリテーション科 (診療所開業1～2年)

「かけはし」が窓口となり、患者さんの情報や検査・入院の点においてはいつもお世話になりありがたく思う。しかし病院全体としてとらえると、「地域医療支援病院」であるとの認識が職員個々のレベルまでは達していない。共同診療を理解していない職員も多いように思います。あと、電話がつながりにくいです。

☆ 耳鼻咽喉科（診療所開業2～5年）

院内の職員ぐらいは紹介状なしで診察したらどうですか。

☆ 耳鼻科、形成外科（診療所開業1～2年）

紹介患者の大部分は手術依頼です。手術日及び時間が決まれば連絡して欲しい。都合によっては手術に参加したいともあります。

☆ 小児科（診療所開業1～2年）

救急での検査体制がしっかり出来ていない感じがある。三次救急までできるようしっかりした体制作りを希望する。

☆ 内科（診療所開業1年以内）

病診連携に最も積極的に取り組んでいる貴院は非常にありがたい存在であり、かつ頼りになる病院です。今後、各診療科の専門医にそろえて安心して患者を送れる体制になっていただければと思います。

☆ 内科、リハビリテーション科（診療所開業1～2年）

浦添総合病院は心強い存在である。学問(医師の資質向上の為)に対する姿勢も評価できる。今後とももっともっと資質・機能を向上させ(浦添総合病院及び私)連携強化を計って行きたい。もう少し病棟のアメニティーが向上すればと願う。

☆ 内科、循環器科、小児科（診療所開業10年以上）

特に不満なし。

☆ 眼科（診療所開業10年以上）

色々な患者さんをお願いしています。時に心苦しいお願いもしていますが、不都合な対応を受けたことはありません。感謝しています。

☆ 内科一般、循環、呼吸、消化器、透析（診療所開業1年以内）

共同診療を行う時に時間がなかなか合わず、カルテ上の記事で会話をしていない。駐車場の空きスペース、時間外の駐車券の問題がある。

☆ 小児科（診療所開業10年以上）

これまでの診察システムが一方的な Up Down 方式の感を受け、各スタッフは一生懸命に働いているのに上からの命令でマニュアル的にこなすことに重点がなって、十分な

Informed Cosent がなされてなかったと思う。今後の発展を祈ります。

☆ 外科、内科（診療所開業10年以上）

病診・病診連携医療という基本的な理念に基づいて、一方的な利益に偏しないように事業を推進してもらいたい。

☆ 形成外科、美容外科（診療所開業2～5年）

手術室の Open 制度について自費診療に関しても積極的に取り組んでももらいたい。

☆ 内科（診療所開業10年以上）

連携室の機能を強化する事に大賛成です。

- 1、 入院受け入れの可否（Bed の空き情報の管理）
- 2、 諸検査の予約(検査日の予約)
- 3、 患者情報の問い合わせ

等々を各部署に電話を回す事無く、患者さんに2度手間させないため、連携室の、窓口に一本化する事で医院からの連携はもっとやりやすくなるものと思われま

す。1について例えば、

患者情報提供書を FAX で流すか電話で連絡すると、連携室の方で各部署との連絡を取っておおよその入院の可否の返事を返してもらう。

2について例えば、

胃カメラ等諸検査は患者さんの2度手間を省く為にも出来るだけ FAX もしくは電話情報で検査日の予約が取れる。

最後に念を押すようですが、上記のような事、連携室で出来るようなことを各部署に回すことは止めて欲しい。例えば、患者についての病態、薬の内容等。

病室の初めて電話を取る各部署の看護婦より連携室の人の方が看護婦さんよりどうしても回数が多くなる為意思の疎通が取れているので問い合わせは看護さんより連携室の人の方がスムーズに運ぶと思います。

以 上

研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻名	ページ	出版年
田村誠 福田敬	地域医療連携関係の 加算取得状況調査 －医療機能分化政策 の形成的評価Ⅰ－	社会保険 旬報	2121	20-25	2002
福田敬 田村誠	地域医療連携関係の 加算取得状況調査 －医療機能分化政策 の形成的評価Ⅱ－	社会保険 旬報	2133	24-27	2002

20020052

以降は雑誌/図書に掲載された論文となりますので、
P.155の「研究成果の刊行に関する一覧表」をご参照ください。